デーリー東北新聞社提供

デーリー東北
2026年（令和8年）10月15日（木曜日）（2）

巨大地震や核医学 研究に理解深める

六ケ所・核燃料サイクルセミナー

日本原子力研究開発機構主催の「六ケ所・核燃料サイクルセミナー」が14日、六ケ所村文化交流プラザ・スワニーで開かれた。原子力事業者や学生ら約250人が巨大地震のメカニズムや核医学の研究などに理解を深めた。

海洋研究開発機構（JAMSTEC）審議役として国際的な海洋科学掘削をリードする江口暢久氏が「未踏のフロンティアに挑む地球深部探査船『ちきゅう』」をテーマに講演した。

ちきゅうによる掘削で得られた海底深部のデータ解析を踏まえ、東日本大震災の巨大な断層の動きは「粘土層が非常に滑りやすい状態だった」と解説。今後の巨大地震に備え、研究を進める考えを示した。

会場では、環境科学技術研究所（同村）や八戸工業大、八戸学院大などの研究内容を紹介するパネル展示が行われた。（西舘康司）



地震や核医学の研究に理解を深めたセミナー＝14日、六ケ所村

※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。